

令和元年度第3回富山県公立大学法人評価委員会 議事録 (概略版)

1 日 時 令和元年11月6日(水) 14:00~14:40

2 会 場 県庁4階大会議室

3 出席委員

- ・谷川 正人 [(一社)富山県機電工業会会長・コーセル(株) 代表取締役社長]
- ・林 幸秀 [(公財)ライフサイエンス振興財団理事長] ※委員長
- ・堀 仁志 [堀税理士法人代表社員・公認会計士]

4 会議の概要

- ・司会が開会を宣し、総合政策局長より開会の挨拶
- ・司会より、林委員長に議事の進行を依頼し、以後の進行については委員長が行った。
- ・委員長より、(評価の対象である)法人が本日の委員会に最後まで同席することについて、委員の了承を得た。

議事1 中期目標の期間の終了時に見込まれる中期目標の期間における業務の実績に関する評価(案)について

<事務局説明>

資料1に基づき、中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価(案)について説明

(委員長)

- ・資料1の評価(案)について、ご意見があれば伺いたい。
- ・資料について、事前に送付いただいたが、欠席の梅田委員、福田委員から意見を伺っているか。

(事務局)

- ・今回、お二人からは特にご意見を伺っていない。

(委員長)

- ・それでは、お二人は、基本的に3人の議論を踏まえるということであると思う。
- ・では、意見を伺いたい。

(委員)

- ・特にS評価をしたところ(研究に関する目標を達成するための措置)で、県民の皆さんがぱっと見たときに言葉がわからない部分があると思った。「JST」という言葉について「JST」がどういう機関であるかは、この文面では、わかりづらいと思う。
- ・「くすりのシリコンバレーTOYAMA」についても、地元の新聞では大きく取りあげられているが、注意書き等で、何を目的に組織化されて何を目指してやっている集まりなのかを丁寧に示すことで、県民の皆さんには、くすりのシリコンバレーの中で県立大学がどういう形で参画しているのかを理解いただけると思う。

- ・財務の関係について、外部資金、競争的資金を獲得するために、県立大学の先生方が非常に努力しておられることやその成果が出ていることは、この評価で十分わかっていただけだと思う。

(委員長)

- ・大きく2つ伺った。1つは、2ページの「JST」については、フルネームで記載しておいた方が良いということ、それから、もう1つ「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアムについて、これは何かということ、注で書く方法もあるし、もう少し丁寧に本文で説明する方法もあるので、どちらでも良いと思うが、きちんとわかるように記載してほしい。
- ・この「くすりのシリコンバレーTOYAMA」は、国に応募してやる事業なのか。

(事務局)

- ・内閣府に応募して、指定を受けて補助金をもらって実施する。

(委員長)

- ・長くなるようなら注書きでもよいのできちんと書いた方が良い。
- ・財務については、Sにした内容について、確認をされたということによろしいか。

(委員)

- ・そうである。

(委員長)

- ・了解した。

(委員)

- ・前回7月に開催した第2回評価委員会では、項目別の評価ということで、A、Sの評価について協議をした。本日、この評価(案)が示されたが、欲を言えばということ思ったことがあるので、聞いていただきたい。
- ・結果として「よかった」と記載があるが、それがどう良いのか、なぜ良いのかというコメントを入れていただくとわかりやすいと思うところが何か所がある。
- ・例えば財務内容の改善に関する目標のところでは、どういう努力によりS評価になったのかについて、具体的に書ける範囲で書いていただくと良いと思う。業務運営の改善及び効率化に関する目標のところは、すごく簡単に書いてあるが、結局は、効率化したのか、どうなのか。大学がいろいろ努力されて、取組みをされたということはわかるが、ちょっと気になった。
- ・海外との交流について、例えばバーゼル大学、あるいはインドネシアの大学など、海外の大学と交流をすることは、確かに、国際化に対応する教育環境をつくることになると思うが、なぜ、この大学と交流協定を結ぶのか、協定を結ぶことが何につながるのか、どういう意味があるのか、ということが解説としてあっても良いかと思った。

(委員長)

- ・3つの指摘があった。事務局あるいは大学の方からそれらについて、努力したことの事実関係をはっきりさせて、そのうえで、できれば盛り込むべきでないかという意見かと思うが、指摘のあった点について事実関係はどうか。

(事務局)

- ・研究の実績については、外部資金の獲得は増加傾向にある。数字の実績については、可能な限り書く方向で検討したい。
- ・効率化のところについては、理事長と学長のリーダーシップについて記載したが、教育研究審議会は、臨時会も含めて年間20回程度開催しており、非常に多くの回数を重ねている。また、理事会・経営審議会についても年間4回程度開催しているという実績がある。これらを踏まえてAの評価とした。
- ・海外の大学との交流については、大学名の記載に加え、どういった観点から締結したのかについて、事務局で検討させていただいて、記載を詳しくしたい。

(委員長)

- ・事務局から説明があったように、具体的な数字、何件が何件になった等の記載がないことから、指摘のあったとおりそれではわかりにくいので、記載したら良いと思われるものを、1つまたは2つくらいを例示的に書けばわかりやすいと思う。
- ・海外との交流は、交流の数を増やすことが数値目標だったか。それは、いろいろな国とできるだけ幅広くやって、大学の教育や研究のバックグラウンドにしたいということだと思うが、もし、そういうことであれば、なぜ、国際的な交流が必要であるかを書いていただければと思う。
- ・全部記載すると長くなるので、代表的な例を1つ又は2つを記載していただいたら良いと思う。交流協定の数を増やすことであればそれで良いが、そうでなければ、どうして、国際的な協定を結ぶことになったかを少し記載していただければ良い。

(委員長)

- ・委員長としてではなく、一委員として確認をしたい。県では県内就職率について、これまで気にされていると承知している。評価案の2ページ目の下から6行目あたり、「また」以下に関連の記載があるが、私はこの書きぶりでかなり厳しく指摘していると思う。これを緩めてしまうと、評価委員会はきちんと評価をしているのかということになる。事務局にお伺いしたいが、この書きぶりでは、県庁内で特に異論は無いと考えてよいか。

(事務局)

- ・県内就職率については、そんなに変わってないというのも事実で、これを少しでもあげていくということで、目標値として設定している。強化と書いているので、がんばっていくということだと考えている。

(委員長)

- ・厳しく書いてあると思う。ちゃんとやりなさい、さらに強化しなさいと書いてあり、問題ないと思っているが、念のために確認をした。

- ・私も含めて3人の意見が出たわけだが、最終確認をする。
- ・1つは、略語とか、わかりにくい言葉については、正式名称ないしは注をつけること、2つは、評価がさらっと書いてあるが、具体的な中身を評価に入れ込んで記載した方がいいのではないかということ、この2つである。それ以外に何かあるか。

(委員)

- ・評価(案)に大学院工学研究科の再編と記載があるが、これについての意味・方向性について、話せる範囲で聞かせていただきたい。

(法人)

- ・当大学では、学部の4年生までの定員増を実施してきており、その学生たちは現在3年生になっている。その3年生の学生たちが大学院に入るときに、きちんと見合う大学院がなかったり、定員が充分になっていないという状態である。そこで、学生が大学院に進級するのに合わせて再編を行うことにしている。
- ・さらに、大学院の博士課程も再編を検討しており、1つは、現在の定員が5専攻で1学年20人であるものを1専攻にして、より垣根をなくすような形で大きな専攻にしたというのが1つ。それから、定員を減らして現状に見合った数として20人から10人に変更しようとしているものである。
- ・去る6月に大学から文部科学省に相談をし、8月に結果がきて、名称変更等については、大学が考えていたやり方で構わないという返事をいただいた。来年度の4月以降に正式に文書を提出して再編を行うことを予定している。

(委員長)

- ・了解した。再編については、現在ある程度準備をし、文部科学省とも相談をしており、内々に了解をもらっているということかと思うが、年度が替わるときにきちんとやらないといけないとうことで、その事務が残っているということで、評価(案)に書いてあるということだと思う。
- ・それでは、資料1については、現在の案を中心にして、今日出た意見を念頭において、少し修正をしていただくこととして、了承ということにしたいと思う。
- ・修正については、また集まっただくのも大変なので、修正案を事務局で考えてもらい、私の方と相談をしてもらうことで、一任してもらいたい。
- ・それからもう1点、基本方針の4の(2)に書いてあるが、手続き的には、法人に対して意見の申し立ての機会を与えるとなっているので、法人は意見があれば11月11日までに申し立てをしていただきたい。法人から意見があった場合は、もう一度委員会を開催して、申し立てに対して議論をすることになるが、こちらの方も私と事務局に任せてもらいたい。

(両委員)

- ・委員長の述べられた取りまとめ方向で、異存はない。

(委員長)

- ・以上で本日の議事は終了する。

<閉会>